



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イースタワー 19F

アドビ、企業のモバイルマーケティングを強化する、 最新モバイルソリューションを発表

モバイル開発ソリューション PhoneGap Enterprise の提供と
Apple iBeacons のサポートにより、マーケティング ROI を向上

※本リリースは、2014年3月25日に弊社米国本社から発表された発表文の抄訳です

【2014年3月26日】

米国ユタ州ソルトレイクシティ、Adobe Summit発（2014年3月25日）

Adobe (Nasdaq : ADBE) (本社 : 米国カリフォルニア州サンノゼ、以下 アドビ) は本日、モバイルチャネルに対して高度にパーソナライズされたモバイルアプリケーションを作成・管理し、顧客や見込み客にリアルタイムで配信することを可能にする、[Adobe Marketing Cloud](#)のモバイルマーケティング関連の最新ソリューションを発表しました。モバイルにおいて市場をリードするアドビの経験を活かし、ダイナミックなモバイルアプリケーションの開発から、主要アプリケーションストアを通じたマーケティング活動と管理、モバイルマーケティングキャンペーンの効果測定、Apple iBeaconsを活用したアプリケーションユーザーとのエンゲージメント（関係性）強化まで、モバイルマーケティングを包括的に実現するものです。

アドビのデジタルマーケティング事業部門担当シニアバイスプレジデント兼ゼネラルマネージャーであるブラッド レンチャー (Brad Rencher) は、次のように述べています。

「Adobe Marketing Cloudでマーケターがコンテンツ管理や評価、収益化を図ることに加えて、開発者がこれを支援するモバイルアプリケーションの作成や配信を行うこともできるようになりました。Adobe Marketing Cloudは業界で最も包括的なマーケター向けソリューションであり、本日発表した新たな技術により、アドビのモバイルアプリケーションマーケティングにおけるリーダーとしての地位が、より確固としたものとなりました。」

Adobe Marketing Cloudは多様なモバイルチャネルにおいて、ユーザーの具体的なエンゲージメントを分析するだけでなく、ロケーションに応じた適切なコンテンツをリアルタイムで配信することにより、最適な顧客体験の提供を実現するソリューションです。これによりマーケターは、モバイルアプリケーションとWebサイトの双方を利用するユーザーについても、効果的に獲得し、エンゲージメントの構築と定着を図ることによって、投資対効果 (ROI) を大幅に向上させることができます。Adobe Marketing Cloudはすべての機能を通じてワークフローが使いやすく統合され、複雑さを軽減してあらゆるアプリケーションストアの管理や分析、体験の最適化を実現します。新機能には下記が含まれます。

・簡単なアプリケーション開発機能：

Webコンテンツ管理ソリューション「[Adobe Experience Manager](#)」とPhoneGap Enterpriseの組み合わせにより、モバイルアプリケーションの開発ワークフローを変革し、開発者と

マーケターの両方が協働できるようになります。開発者はさまざまなプラットフォームを通じてアプリケーションを開発し、短期間で市場投入するというニーズに積極的に応え、かつサードパーティシステムとの統合もサポートできるようになります。マーケターはアプリケーションコンテンツを簡単に更新でき、専門的なアプリケーション開発知識がなくてもアプリケーション配信後の最適化や検証、バリエーションの管理等を行えるようになります。判りやすいインターフェイスを通じて様々な管理業務を行なうことができるため、マーケターは画像やビデオ、対話性の高いコンテンツ、テキストなど、アプリケーションコンテンツを簡単に変更したりレビューしたりすることができます。アップデートはiOSやAndroidなど、あらゆるプラットフォーム上で即座に反映させることができます。

・DPS向けコンテンツ管理：

アドビのデジタルパブリッシングソリューション「Adobe Digital Publishing Suite (DPS)」はすでにAdobe Experience Managerと統合されており、コンテンツ主体型アプリケーションの配信を通じて、顧客体験の一貫性を高めることができます。

・モバイルマーケティングキャンペーンの評価：

Adobe Marketing Cloudのモバイルマーケティング支援サービスに新機能が加わり、「Adobe Mobile services 2.0」として強化されました。マーケターは、Apple App StoreやGoogle Playなどの主要なアプリケーションストアを通じて、どのキャンペーンがモバイルアプリケーションのダウンロード促進に最も効果があったのかを測定できます。また、アプリケーションのダウンロード後のイベント開始、ユーザーエンゲージメント、ソーシャルを通じたコンテンツの共有、商品購入など、一連のユーザー行動の評価も行え、ユーザーの生涯価値に関するより深いインサイトを得ることができます。モバイルアプリケーションのマーケティングキャンペーンの効果をペイド、オウンド、アーンドのそれぞれで追跡することによって、企業は正確にROIを把握し、予算の最適化を図ることができます。

・Apple iBeaconsに対応：

アドビはモバイルプロバイダーとして初めてAppleのiBeaconsに対応し、スポーツスタジアムやショッピング施設など外部施設でiBeaconsに接続されたモバイルアプリケーションのユーザーエンゲージメントの測定や対応を可能にしました。Adobe Mobile services 2.0は、iBeaconsエリアにおけるユーザーの滞在時間や入退出時間など、iBeacons周辺のユーザーの分析や、ユーザーへの働きかけを可能にします。iBeaconsとの接近性に応じて、ローカルなお知らせやプロモーションも簡単に配信できるほか、顧客接点の分析ソリューション「Adobe Analytics」のあらゆるアプリケーションエンゲージメントデータとアプリケーションをインタラクティブに連動させることもできます。

・モバイルアプリケーションを通じた顧客のエンゲージメント再構築：

クロスチャネルのキャンペーン管理ソリューション「Adobe Campaign」とAdobe Mobile services 2.0の統合によって、マーケターはあらゆるモバイルアプリケーションを通じてプッシュ通知を送信し、顧客のロイヤルティを再構築できるようになりました。Adobe Campaignのユーザーインターフェイス (UI) を使用して、プロモーションや最新ニュース、セール商品情報、支払い明細、ライト情報など、あらゆるデバイスに対して一貫性の高いコンテンツをリアルタイムに配信できます。

Adobe Marketing Cloudについて

デジタルマーケターが必要とするすべての機能を包括的に提供するアドビのデジタルマーケティングソリューション「Adobe Marketing Cloud」には、分析、ソーシャル、広告管理、ターゲティング、Webとアプリケーションのエクスペリエンス管理、クロスチャネルキャンペーン管理といった包括的なソリューションと、コアサービスおよびモバイル機能が含まれており、キャンペーンに必要不可欠な情報をすべて提供します。これにより、よりすばやく、これまでになく効果的に、データから知見を得て、アクションへと繋げることが可能となります。

詳細は以下をご覧ください。 <http://www.adobe.com/jp/solutions/digital-marketing.html>

アドビについて

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Webサイト](#)に掲載されています。

Adobe, the Adobe logo and Adobe Marketing Cloud are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

©2014 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.